

(3) 浪江町のうつりかわり (歴史年表)

西れき	年号	浪江町の主なできごと
1890	明治23	• それまでの小さな村が合わさって、浪江、幾世橋、請戸、苧野、大堀の5つの村ができた。
1897	30	• 常磐線が開通し、浪江駅ができた。
1898	31	• 浪江郡郵便局電信事務が始まった。
1906	39	• 権現堂の火災で五十戸が焼失した。
1907	40	• 請戸浜の火災で十七戸が焼失した。
1908	41	• 浪江銀行が設立された。
1910	43	• 磐城水電が完成し電灯がついた。
1912	大正1	• 浪江局電話が開通した。
1921	10	• 請戸川水電の村落配電が完成し点灯した。
1927	昭和2	• 諸銀行支店が預金取付けにあい休業した。
1932	7	• 町出身の作曲家佐々木俊一の『涙の渡り鳥』が流行した。
1941	16	• 真珠湾を攻撃し、太平洋戦争が始まった。
1945	20	• 請戸沖でアメリカの潜水艦にゆ送船が撃沈された。 • ポツダム宣言を受諾し、太平洋戦争が終わる。
1953	28	• 浪江町、幾世橋村、請戸村が合併した。
1956	31	• 1町(浪江町)3か村(大堀村、苧野村、津島村)が合併して、新しい浪江町ができた。
1962	37	• 浪江町の町章が定められた。
1970	45	• 浪江中学校、大堀中学校、苧野中学校が統合になり、浪江中学校となった。
1974	49	• 幾世橋中学校と請戸中学校が統合になり、東中学校となった。